



奈良県マスコットキャラクター
せんとくん
©NARA pref.

奈良県感染症発生動向調査 還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
(奈良県保健環境研究センター内)



今週の概要

- 今週の感染症情報
- 流行感染症情報：インフルエンザ New
- 全数把握対象感染症発生状況（平成25年1月） New
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）
発生状況（1月月報） New

(調査週) 平成25年 第6週 2月4日(月)～2月10日(日)

奈良県および二次医療圏別発生状況 (奈良県上位5疾患)(5週間からの動向)

| 順位 | 疾患 | 定点当り | 奈良県 | 北部 | 中部 | 南部 |
|----|-----------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 1 | インフルエンザ | 21.96 | ↑ | ↑ | ↑ | →～↑ |
| 2 | 感染性胃腸炎 | 5.03 | → | → | → | →～↓ |
| 3 | 水痘 | 1.06 | →～↑ | → | ↑ | → |
| 4 | A群溶連菌咽頭炎 | 0.83 | →～↑ | → | ↑ | ↓ |
| 5 | RSウイルス感染症 | 0.60 | →～↑ | →～↑ | →～↑ | → |

全県の動きと目立って異なる推移(定点当りの変化程度で実数ではない)を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は686例で、前週報告の812例から減少。上位5疾患は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③水痘、④A群溶連菌咽頭炎、⑤RSウイルス感染症の順。感染性胃腸炎の報告数(89例)は、やや増加。RSウイルス感染症の報告数(10例)も、やや増加。水痘の報告数(15例)は、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数(692→553例)は、減少。A群溶連菌咽頭炎の報告数(13例)は、やや減少。また、インフルエンザ定点からの報告は、奈良市保健所管内243例、郡山保健所管内310例の計553例、定点当たりの報告数は、前週の25.63から20.48に減少した。奈良市保健所および郡山保健所両管内眼科定点と基幹定点からの報告は、すべてなかった。(村井 記)

県北部外来状況 インフルエンザの流行は先々週がピークで徐々に減少傾向にある。A型が主だがB型もわずかに増えてきている。感染性胃腸炎は多くなくロタウイルスもまだみられない。保育園児で水痘の流行がある。

(矢追 記)

県中部地区概況 報告数は、824例から709例と減少した。上位5疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、A群溶連菌咽頭炎、咽頭結膜熱の順であった。インフルエンザは、699例から575例と、流行のピークをむかえている。感染性胃腸炎は、88例から75例と横ばいである。基幹定点および眼科定点からの報告はなかった。

(高木 記)

県中部外来状況 外来数は三連休後減少。インフルエンザは三連休後急減した。乾性咳嗽の頑固な例がやや多い。RS気管支炎が数例あった。ノロ様の嘔吐例が続いている。今冬初のロタ腸炎があった。軽症。その他A群溶連菌感染症がわずかにあった。

(岡本 記)

県南部地区概況 報告数(第5週→第6週)は120例→102例と減少。報告のあった疾患は、①インフルエンザ(98例→80例)、②感染性胃腸炎(13例→12例)、③RSウイルス感染症(4例→4例)、④咽頭結膜熱(1例→2例)、④水痘(1例→2例)、⑥A群溶連菌咽頭炎(3例→1例)、⑥突発性発疹(0例→1例)であった。

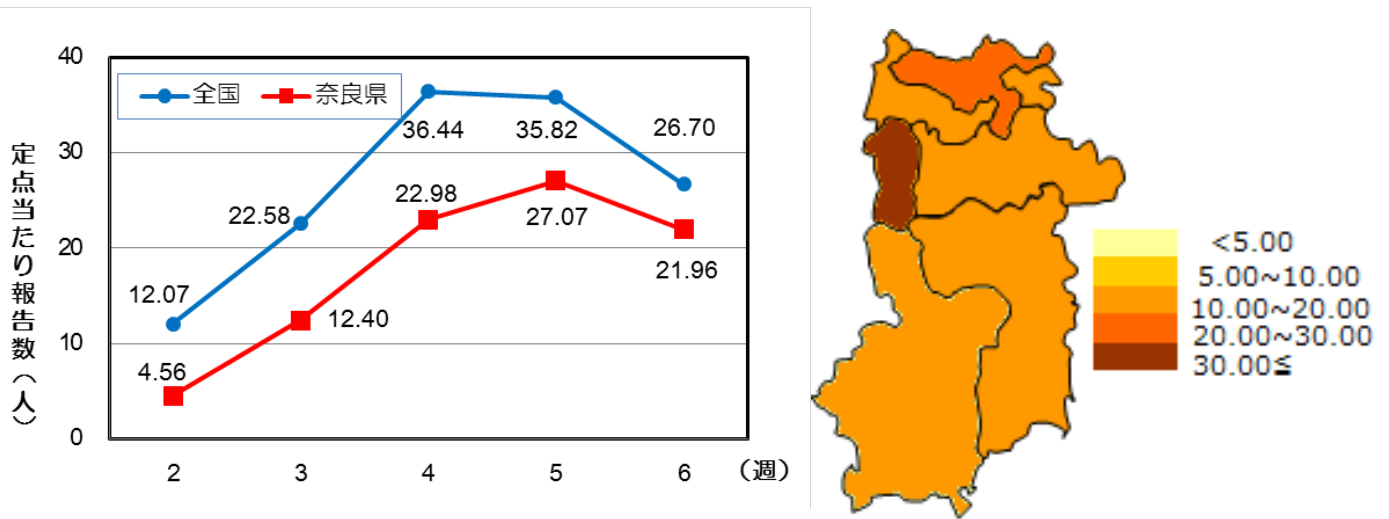
(柳生 記)

県南部外来状況 外来数はさほど多くない。インフルエンザは週を追って減少傾向。依然A型のみでB型は認めず。ワクチン接種済み者などは軽症が多い。感染性胃腸炎も減少。ロタは認めず。他は水痘が少し有った程度。

(山本 記)

【流行感染症情報：インフルエンザ】

インフルエンザの定点当たり報告数は、奈良県全体では 27.07 から 21.96 へと、減少しました。全国値も 26.70 となり、前週より減少しました。



保健所別定点当たり報告数

【全数把握対象感染症発生状況（平成 25 年 1 月）】

平成 25 年 1 月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下のとおりです。

1 月報告患者数（平成 25 年 2 月 1 2 日現在）

| 類型 | 疾患名/保健所名 | 奈良市 | 郡山 | 桜井 | 葛城 | 内吉野 | 吉野 | 計 |
|-----|----------|-----|----|----|----|-----|----|----|
| 2 類 | 結核 | 3 | 8 | 3 | 2 | 0 | 1 | 17 |

（感染症情報センター 記）

【月報告対象感染症(性感染症・薬剤耐性菌感染症)発生状況(1 月月報)】

平成 25 年 1 月に奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は、以下のとおりです。

・STD 患者数（人）

| 疾患名\報告月 | 1 月 | | 前月（12 月） | |
|---------------|-----|----------|----------|----------|
| | 報告数 | 定点当たり報告数 | 報告数 | 定点当たり報告数 |
| 性器クラミジア感染症 | 7 | 0.78 | 15 | 1.67 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 4 | 0.44 | 3 | 0.33 |
| 尖圭コンジローマ | 1 | 0.11 | 3 | 0.33 |
| 淋菌感染症 | 8 | 0.89 | 9 | 1 |

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

| 疾患名\報告月 | 1月 | | 前月（12月） | |
|-------------------|-----|----------|---------|----------|
| | 報告数 | 定点当たり報告数 | 報告数 | 定点当たり報告数 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 32 | 5.33 | 34 | 5.67 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 11 | 1.83 | 11 | 1.83 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 1 | 0.17 | 0 | 0 |
| 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 |

（感染症情報センター 記）



感染症情報センターホームページアドレス

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm